

大阪市U-14フレッシュリーグ2015 大会要項

大会名	大阪市U-14フレッシュリーグ2015 (通称：フレッシュリーグ 略：FL)
主催	(一社)大阪府サッカー協会
主管	(一社)大阪府サッカー協会
開催時期	前期リーグ 2015年10月3日～11月8日 後期リーグ 2015年11月21日～12月23日 決勝T 2016年3月5日～3月13日
会場	大阪府内各会場
競技規則	最新の(公財)日本サッカー協会制定の「競技規則」による
参加資格	・2001年(H13)4月2日以降の出生者 ・参加チームのメンバーは11名以上の選手で構成され、その内中学校年齢層の選手数は8名以上 ・大阪市に本拠地登録をしているクラブ・中体連チームとする。 ・(公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録したチームの選手である。 ・リーグ期間中に上記条件を満たさなくなった場合は、リーグ棄権とし、当該チームの全試合記録を抹消する。 ・リーグ戦参加にあたり、前後期リーグ・決勝Tに参加することを原則とする。
最少スタッフ数	1名
参加費	・参加費 4000円
参加費振込先	・三菱東京UFJ銀行：泉佐野支店(710) ・普通 口座番号 0091780 ・口座名義：シャダンホウジン オオサカフサッカーキョウカイ
女子選手の 出場について	認める
4種登録選手 出場について	・認める(クラブ申請完了必須) ・試合への同時出場選手数は最大5名とする
大会エントリー	・エントリー期日：2015年9月7日(月) ・3種委員会ホームページ内、エントリーフォームから行う
運営会議	前期リーグ 9月11日(金) 19:00 大阪府サッカー協会 大会議室
	後期リーグ 11月17日(火) 19:00 大阪府サッカー協会 大会議室
競技方法	・前期リーグ 各ブロック6チームリーグ ブロック数は参加チーム数により決定 ・後期リーグ 前期の結果を受けて1部・2部の編成を行う。1部・2部共に、各ブロック6～8チームリーグ ・決勝トーナメント 1部・2部からそれぞれ上位8チーム ・リーグ戦の勝点は、勝ち=3点 引き分け=1点 負け=0点 ・勝点・当該対戦結果(勝ち点が並んだ複数チーム同士の対戦の中での勝点・得失点・総得点)・得失点・総得点・抽選の順とする。 ・試合時間は50分(25-5-25)とする ・主審は上記試合時間の他、ロスタイムも適宜採用しなければならない。 ・棄権試合が3試合を超えた場合、当該チームはそれ以後のリーグ戦参加資格を失い、それまでの試合結果も削除される。
前後期リーグ 決勝トーナメント 編成 ブロック 決定方法	・前期リーグは、オープン抽選を行う。 ・後期リーグは、前期リーグの結果を反映し、1部・2部に分ける。 (1部・2部それぞれのリーグ中で会場を確保するため同順位のブロックの入れ替えがある) ・リーグ編成はエントリーチーム数によって異なるが、以下の通りとする。 前期 : 6チーム × ブロック 後期 : 6～8チーム × ブロック 決勝T : 8チーム 前期は最大6チーム編成とする。 各リーグ戦において、参加チーム数によりチーム数がブロック間で異なる場合がある。

昇降格規定	・大阪市U-14フレッシュリーグ2015後期リーグの結果を、2016年の大会に反映する。 ・フレッシュリーグ2015のエントリーチームが決定し、前後期リーグのブロックが確定した時点で昇降格数を決定する。 ・次年度に向けての昇降格に関しては、後期リーグ運営会議時に確認を行う。
選手エントリー	・試合開始30分前までに本部へ【メンバー表】2部と【申し送り事項】を提出する。 ・試合毎の登録は20名までとし、先発に○、サブに△をつける。 ・選手エントリーについては毎節ごとにメンバー表に選手を記入するので、毎節、選手証を持参し提出する。但し、手元に届いていない場合のみ【Web登録サイト「最新の選手登録・申請状況」画面コピー】での代替えを認める。※選手証の提出は原寸のカラーコピーでも可（メンバー表の順番に並べておく）。
選手交代	・自由な交代を採用する。 ・選手交代用紙は使用しない。
帯同審判	・主審は18歳以上(高校生年代不可)の有資格者 ・副審は中学生年代可（資格の有無は問わない。ただし、できるだけ上級生もしくは信頼できる生徒が行う。） ・審判員の不慮の事故により、試合続行が不可能な場合は、会場責任者と試合責任者と協議の上対応し、必ず試合は成立させる。
試合の成立	・試合開始時に7名未満の場合は棄権とする。 ・試合経過途中で選手数が7名未満になった場合、棄権とする。 ・棄権が生じた際の試合スコアは0-5とするが、得失点で順位が決まる場合でかつ、棄権チームとの対戦がともに勝ち、ともに負けの場合、棄権チームとのスコアは全て削除する。
警告・退場等	・リーグ期間中に、警告を2度命じられた選手は、次の1試合は出場停止 ・累積警告が2度目となった選手は2試合の出場停止とする ・試合中に退場を命じられた選手は、最低次の1試合は出場停止となる ・その後の処置についてはフェアプレー・規律委員会にて決定する。 ・但し、2試合以上の出場停止になるような重要事項の場合は、別途フェアプレー・規律委員会にて出場停止試合数を決定する。 ・累積警告は、予選リーグで消化させ、決勝Tへは持ち越さない。 ・退場による出場停止処分は、決勝Tへ持ち越しとする。
試合報告 審判報告	・試合責任者は試合終了後、試合記録報告書を記入し、会場責任者に提出する。 ・退場等重要事項が発生した場合は、担当主審が審判報告書に報告事項を記入して会場責任者へ報告する。
試合責任の 役割	・試合責任者は、第4審判の役割も担っている。 ・【試合記録報告書】の準備・記入・作成 ・【メンバー表】と【選手証】との照合を行う（試合出場選手の登録の確認） ・選手証の携帯および提出を基本とするが、手元に届いていない場合のみ【Web登録サイト最新の選手登録・申請状況」画面コピー】での代替えを認める。 ・メンバー表、審判証、選手交代時の確認 ・問題が発生した場合の報告義務 ・試合中であれば、主審への確に助言する。 ・試合後、主審から詳細を聞き【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。主審が居ない場合は試合責任者が【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。 ・重要事項が発生した場合、【試合記録報告書】に詳細を記入し会場責任者へ渡す。 ・【申し送り事項】に記入し、各チームスタッフへ返却する。 ・試合終了後、メールにて試合結果を報告する(当日の19:00までに)
会場責任 の役割	・主審・副審が居ない場合の対応 ・会場設営・ピッチライン・本部・チームベンチ・ゴール・コーナーフラッグ・副審フラッグ・エアーポンプの用意 ・重要事項(退場など)が発生した場合、試合結果とともに速やかにメールにてすぐに報告する(当日の19:00までに) ・メールアドレス
試合結果 報告宛先	●試合終了後、早急に報告(当日の19:00までに報告) ●この報告は試合責任者が行う

会場責任者 報告について	・会場責任者報告書については、重要事項(退場など)が発生した時のみ、メールにて報告をする。 (当日の19:00までに)
ボ ー ル	・5号、検定球(公認球)を使用する。 ・両チームより持ち寄り主審が決定する。
ユニフォーム	・ユニフォームは正・副(GKを含む)の2色を必ず用意しなければならない。 ・GKユニフォームは、FPとは明確に違う色を用いるものとする。またその際には、FPの2色と重ならないようにしなければならない。 ・ユニフォームはカラー・デザイン・マーク等も必ず一致させる。 ・尚、使用するユニフォームの最終決定は試合開始30分前を目安に主審が行う。 ・アンダーシャツを着用する場合は、その主たる色チームで統一した色をもちいること。 ・アンダーショーツ・タイツを着用する場合、その主たる色はショーツの主たる色と同じにする。 ・競技者の安全のために、一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
日程	・10月3日～12月23日の間、「リーグはすべての日程の基軸となる」事を念頭に、積極的にリーグ戦の日程調整や運営に協力し、ブロック長を中心に各リーグにて試合を消化する。 ・前期リーグは5日以上、後期リーグは2ヵ月で8日以上は、リーグ戦可能日として、調査票に記入すること。(平日は認めない)
合同チームに 関して	・選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしており、大阪府サッカー協会3種委員会の承認を得た場合においてのみ認める事とする。 ・合同するチームは2チームまでとする。 ・合同するチーム及び選手は「参加資格」を満たしている事。 ・大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
日没や落雷時 の再試合 について	●本来の規定とは異なるが、以下のように定める。 ・日没・落雷等により試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は主審が競技運営者と協議の上、判断する。 ・日没・落雷に関わらず、中断後は残り試合時間を“再試合”として実施する。再試合時には中断時のメンバー表・申し送り事項用紙を準備する。 ・再試合時には中断した場所がインプレーであれば中断場所からのドロップボールにて再開する。アウトオブプレー時に中断した場合はその中断場所からの再開とする。 ・再試合の審判は中断前と同一審判が望ましい。 ・再試合の出場選手については同一選手が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合も、再試合には同一選手が出場する事とする。
表 彰	・各ブロックの優勝チームには、賞状を授与する。
そ の 他	・負傷者については各チームにて対応する事とし、主催者及び主管者は一切の責任を負わない。 ・大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入している事。 ・チームベンチにはメンバー表に記入された指導者・登録選手のみとし、保護者等のベンチ入りは一切認めない。 ・チーム事情で大会に支障(当日棄権など)が生じた場合は、規律・フェアプレー委員会にて後の処理を決定する。 ・やむを得ず棄権するチームは速やかに当該ブロック長及び大阪府3種委員会まで連絡する。 ・保護者等の応援位置については会場責任者の指示に必ず従う事。保護者の会場施設内や近隣での駐車を認めない。 ・尚、本レギュレーションは今年度のみの採用とし、適宜改訂・改善を検討していくものとする。 ・各ブロックはブロック長を中心に運営する。 ・決勝Tにおいては、主審・副審を大人で行う予定。FL参加チームで協力して審判を行う。 ・「よりリーグ運営を行いやすくする」事を念頭に、各チームは『グラウンド調査票』の提出期限を厳守するなど積極的に協力し、ブロック長が試合日程を組みやすくする。